

議会だより

発行／北斗市議会

監修／北斗市議会運営委員会

No.69

令和4年1月



「初詣 一年の計は元旦にあり」

— 矢不來天満宮にて —

第4回定例会の概要

■こんなことが決まりました	1
■一般質問（7名）	3
■委員会活動をお知らせします、一部事務組合・広域連合議会の動き…	10
■第4回北斗市子ども議会	12
■議員の会議出席状況（1年間の状況）	13
■議会日誌・編集後記	15

こんなことが決まりました

第4回定例会

令和3年第4回定例会は、12月7日から14日までの8日間の会期で開催され、一般質問のほか、令和3年度各会計補正予算、条例の一部改正などについて審議しました。

▼補正予算

- 令和3年度北斗市一般会計補正予算（第10号）…………… 原案可決
公共交通対策事業経費、新型コロナウイルス緊急対策経費、新型コロナウイルスワクチン接種対策経費、観光交流センター管理経費、中学校施設改修事業経費、原油価格高騰による燃料費の増額などで1億5,114万8千円を追加し、総額を228億391万3千円としました。
- 令和3年度北斗市一般会計補正予算（第11号）…………… 原案可決
新型コロナウイルス緊急対策経費として、子育て世帯への臨時特別給付金、漁業者事業継続特別支援金などで3億6,529万3千円追加し、総額を231億6,920万6千円としました。
- 令和3年度北斗市国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）…………… 原案可決
被保険者高額療養費で6,164万8千円を追加し、総額を49億1,968万円としました。
- 令和3年度北斗市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）…………… 原案可決
介護予防住宅改修費などで324万6千円を追加し、総額を46億9,109万2千円としました。

▼条 例

- 北斗市国民健康保険条例の一部改正 …………… 原案可決
産科医療補償制度の掛け金の見直しにより、健康保険法施行令等の一部が改正されたことに伴い、所要の改正を行うための条例の一部改正です。
- 北斗市国民健康保険税条例の一部改正 …………… 原案可決
全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律の施行により、地方税法施行令の一部が改正されたことに伴い、所要の改正を行うための条例の一部改正です。

▼そ の 他

- 財産の取得（種別：土地 面積：8,833.73㎡）…………… 原案可決
- 北斗市健康センター及び北斗市せせらぎ保健センターにおける指定管理者の指定 …………… 原案可決
（指定管理者：社会福祉法人函館緑花会）
- 南渡島消防事務組合理約の変更に関する協議 …………… 原案可決

「会議録検索システム」をご利用ください！

北斗市議会では、1人でも多くの市民の皆様幅広く議会の情報をお知らせするために、会議録検索システムを導入しています。

北斗市議会ホームページの「会議録等」→「会議録検索システムのページ」をクリックすると右の画面に移ります。

検索画面で、気になるキーワードなどを入力すると簡単に会議録を閲覧することができます。

ぜひ、議会で何が議論されているかご覧ください。

※ 会議録検索システムは、パソコンだけでなくスマートフォン・タブレットでもご利用いただけます。



第5回臨時会

令和3年第5回臨時会は、11月9日に開催され、一般会計補正予算について審議しました。

▼補正予算

- ・ **令和3年度北斗市一般会計補正予算（第9号）** …………… **原案可決**
新型コロナウイルス緊急対策経費として、地域商業ウィズコロナ対策支援事業補助金、ほくと宿泊施設応援事業交付金などで3,087万2千円を追加し、総額を226億5,276万5千円としました。

第6回臨時会

令和3年第6回臨時会は、12月22日に開催され、一般会計補正予算について審議しました。

▼補正予算

- ・ **令和3年度北斗市一般会計補正予算（第12号）** …………… **原案可決**
新型コロナウイルス緊急対策経費として、子育て世帯への臨時特別給付金などで3億4,279万2千円を追加し、総額を235億1,199万8千円としました。

▼意見書 - 可決された意見書は、以下のとおりです -

- ・ **令和4年度の米政策に関する意見書**
(提出された意見書の内容は、議会のホームページで閲覧することができます。)

用語解説

意見書 … 地方自治法第99条に基づき、市の公益に関することについて、国や関係行政庁に対し、議会の意思をまとめて提出する文書のことをいいます。
意見書案は議員が提出し、本会議でその可否を決めます。

「議会だより」のアプリ配信ご利用ください！


議会だよりは、配信アプリ「マチイロ」でも見ることができます。
発行日にはプッシュ通知でお知らせするので、手軽にすぐに議会だよりを読むことができます。

ご利用方法

利用するには、お手持ちのスマートフォンやタブレットに「マチイロ」のアプリをインストールしていただき、「北斗市議会だより」を登録してください。

下記QRコードから、ご利用の端末にあわせてアプリをインストールしてください。

アプリダウンロードサイト

Android OS	iOS
	

※QRコードは株式会社デンソーウェブの商標登録です。



一般質問



高村 智 議員

質問 きじひき高原に天空のブランコを設置してはいかがか
市長 貴重なご提案をいただいたと受け止めておきたい

問 令和3年第3回定例会の栃木議員の通告に対して、2期目も担わせていただければと市長は答えていました。

市長は、現在の北斗市の課題と今後このまちをどのような方向に導いていこうと考えているのかお聞かせください。

- (1) 人口減少対策と少子高齢化について（函館市・七飯町との人口減数の比較）
- (2) 企業誘致について
- (3) 学童保育について
- (4) 待機児童と保育士の人材不足について
- (5) 子どもの貧困について
- (6) 教員の働き方改革について
- (7) 観光事業について
- (8) 市職員の労働環境について
- (9) 1次産業の後継者問題などについて
- (10) 新函館北斗駅周辺について
- (11) LGBTQへの取り組みについて

4千302人となり、この5年間で2千88人率にして4.5%の減少となっています。同様の比較で、函館市は1万4千895人率にして5.6%の減少、七飯町は434人、率にして1.5%の減少となっています。本市の特徴として、20歳前後の若年層の転出増加が顕著であり、地域の人材不足の解消を図るためにも、若年層の帰郷につながる事業を実施しています。また、自然動態については、結婚から妊娠、出産、子育てまで、切れ目のない支援体制を構築していくことが必要であり、安心して産み・育てることができ環境を整えることで、出生数の増加を図ってまいりたい。

(2) 優れた地域特性を強みに発信するとともに、コロナ後の企業活動回復を見据えた優遇措置の拡大を図り、企業への効果的なアプローチを行ってまいりたい。(3) 今後の課題として、終了時間の延長が挙げられますが、児童の夕食、入浴、学習、睡眠など生活習慣が適切に維持されることが重要であり、利用料金も含め、利用者アンケートを取りながら協議・検討していきたいと考えています。(4) 本年10月1日現在の潜在的待機児童数は34人で、約半数が七重浜地区の認定こども園を希望しています。潜在的待機児童の対策としては、定員の120%以上の状態にならない範囲内で受け入れをしていきたいと考えており、そのためにも、保育面積の確保と保育士の配置が必要となります。

現在、子育て支援センターの統廃合を協議中であり、定員の弾力的運用による手法を中心に効果的な対策を講じてまいりたい。(5) 本市の児童扶養手当受給世帯では、年収300万円以下の世帯が約8割を占めており、経済的な困窮が懸念されますので、来年度から設置する子ども家庭総合支援拠点機能の中で、詳細な実態把握を行うなど、適切に対応してまいりたい。(6) 平成30年度に策定した「北斗市働き方改革プラン」に基づき、教員が本来担べき業務に専念できる環境の整備に努めているところであり、今後は、従来の仕事の仕方にとらわれない新たな視点で議論を重ね、さらなる働き方改革を進めてまいりたい。(7) 昨年度から実施している着地型観光担い手づくり事業を積極的に展開することで、本市の魅力を生かした体験観光商品の開発と普及促進を目指してまいりたい。(8) 行政サービスを向上させていくためには労働環境の改善・向上が不可欠なため、全職員を対象に人材育成の強化に努めるなど、職員の資質向上や意識改革にも取り組んできており、今後も継続して働きやすい環境の整備に努めてまいりたい。(9) 1次産業の就業人口は減少傾向が続いており、後継者問題の解決には、所得の向上が最も重要であると考えています。(10) 市では、にぎわい創出のため今夏以降、地域の方をターゲットとしたイベントを開催しており、引き続き、新駅周辺の活性化に向けた施策を進めてまいりたい。(11) まずは、市民の認識と理解を深めることが重要であり、啓発などできることから取り組んでいくほか、近隣市町などの動向を注視しながら、必要な取り組みを検討してまいりたい。

問 きじひき高原に全国で人気のある天空のブランコや、新駅横のほつくるにミニ四駆サーキットを設置してはいかがか

答(市長) 天空のブランコは貴重なご提案をいただいたと受け止めておきたい。

答(観光課長) 新駅周辺のイベントは、ミニ四駆に限らず、費用などを協議し実施の可否を含めて検討してまいりたい。



きじひき高原からの眺望
「駒ヶ岳と大沼」

一般質問



工藤 秀子 議員

質問1 水銀灯のLED化に関する町内会等からの要望状況は

市長 51団体から新設23灯、改良599灯の要望があがっている

問 市役所より、水銀に関する水俣条約の採択に伴い、2021年より水銀灯（ランプ）の製造・輸入が禁止、供給量も減少することが予想されることから、当該ランプを管理している各町内会・自治会は、計画的にLED化を進めるようにと通知がありました。

そこで、市内の町内会・自治会の要望状況と市としての今後の考え方をお知らせください。

答（市長） 市では、本年9月に令和4年度予算に係る街灯施設等補助金の要望調査を行った際、水銀灯（ランプ）の製造・輸入禁止に伴い、今後、供給が次第に少なくなるが予想されるため、計画的にLED化を進めていただくよう通知をしており、これに対し、51団体から新設23灯、改良599灯の要望があがっています。

市としての今後の考え方については、令和4年度の改良要望灯数が、今年度の約2倍となっていますが、可能な限り要

望に添えるように予算を措置し、町内会・自治会の計画的なLED化の推進を後押ししてまいりたい。

問 街灯施設等補助金の補助率について、町内会等の規模が小さくなってきており、町内会等の負担も大変だと聞いていますが、全額補助とはならないのか。

答（副市長） 厳しい財政状況の中、選択と集中という考え方で予算編成しており、実現できるかどうか検討してまいりたい。



町内会で管理している水銀灯

質問2 指定福祉避難所の設置状況は

市長 現在、9法人27施設を福祉避難所に指定しています

問 今年7月～8月にかけて、記録的大雨により、特別警報が出され、河川の氾濫、土砂災害を余儀なくされ、各地の被害が報道されました。

当市でも、11月2日～3日に大雨警報（洪水・土砂災害）が発令され、指定された地域に避難指示が出され、開設した避難所には、避難者も来られたと報告が

ありました。

当市では、防災計画等で備蓄品や災害対応資機材は確保されていると思います。指定福祉避難所の設置状況と避難行動要支援者対策の状況をお知らせください。

答（市長） 福祉避難所については、平成30年に福祉避難所設置運営マニュアルを策定し、説明会を実施した上で、ご理解をいただいた社会福祉法人等と協定を締結し、福祉避難所に指定しており、現在、9法人27施設あります。

避難行動要支援者対策の状況については、東日本大震災の教訓を踏まえ、平成25年に災害対策基本法が改正され、市町村に避難行動要支援者名簿の作成が義務付けられました。

本市でも、独自の基準で名簿の作成を行うとともに、「自主防災組織結成の手引き」を策定し、自主防災組織の協力の下、個別避難計画の策定を進めてきたところです。

しかしながら、いまだに災害により、多くの高齢者が被災する事例が多くあることから、避難の実効性をさらに確保するため、災害対策基本法が改正され、個別避難計画の策定については、市町村の努力義務とされたことから、本市でも改めて自主防災組織の拡充を進めており、現在、防災連絡会議との連携の下、4町

会と協議を進めています。

また、要配慮者利用施設等の施設管理者を含め、市内事業者に対しても、協働により、防災訓練の実施や物資等の備蓄、避難行動要支援者の避難体制の構築など、自主的な防災活動の推進に努めていただくなど、あらゆる方面から地域の防災力向上に努めてまいりたい。

問 一般の指定避難所から福祉避難所に移送する判断は誰がするのか。

また、福祉避難所への移送は市の職員がするのか。

答（総務課長） 基本的には一般の指定避難所が開設された段階で、市の保健師が各指定避難所を回り、判断しています。

福祉避難所へ職員が送迎するのは厳しいため、基本的には各自で移動をお願いしていますが、その他、福祉避難所側で送迎する等の方法を取る場合もあります。



指定福祉避難所
「社会福祉法人函館緑花会美ヶ丘敬楽荘」

一般質問



水上 務 議員

質問 谷川地区の発展のため住居専用地域へ用途変更できないか
市長 現状では用途変更は無いが今後も地域発展のため努力する

問 6月定例会においても質問をしましたが、再度、質問します。
 谷川小学校の児童が減少傾向にあります。

谷好2丁目の工業地域を住居専用地域へ用途変更するべきであると考えていますが、いかがですか。

答(市長) 全国的な問題となっている少子高齢化及び人口減少の進行は、本市においても例外ではなく、その影響は多く市内小・中学校で児童生徒数の減少という形でも表面化しています。

質問にあります、谷川小学校の児童数は、10年前の平成23年度が169人だったのに対し、本年4月には99人となり、70人減少しています。

児童数の減少傾向を踏まえ、谷好2丁目の工業地域を住居専用地域へ用途変更すべきという提案は、本年、第2回定例会でも同様の質問をいただいています。市としては、現状の用途地域のままでも

住宅や共同住宅などの建築、宅地造成は可能であるという認識に変わりはありません。

しかしながら、地域の将来を心配される気持ちは十分理解できますので、市としても第2回定例会後、直ちに対象地域の土地所有企業と面談し、谷川小学校の児童数の減少や用途地域の変更に対する考え方、社員向けの宅地開発などについて、意見交換を行ったところです。

また、谷好・富川地区の第1種住居地域の中には、1万㎡以上、またはそれに近い面積の未利用地が6箇所ほど存在していますので、それらの土地利用が図られるよう民間事業者に対してPRを続けていきたいと考えていますし、空き家となつて既住住宅について、空き家バンクの活用を働きかけるとともに、本市の充実した子育て支援制度などをPRすることで、子育て世代の居住につなげてまいりたい。

問 第2次北斗市総合計画に「ほっとするくらしがある」ともにすすめるまちづくり」とあり、いいことがいっぱい書いてありますが、開発をしなければ、家が建たなければ、計画が実現できないわけですか。

用途変更しないということは、計画が絵に描いた餅になってしまう気がするのですが、市長はどのように考えているか

お尋ねします。

答(市長) 谷好2丁目の工業地域は、住宅も建てられますし、造成もできます。多様な使い方ができる土地ですので、用途変更はありません。

また、谷好・富川地区には、それ以外にも宅地開発が可能な土地がありますので、そういう宅地開発できる土地があるということもPRする、これは当該地域以外にも子どもたちの減少が著しい地域もありますので、そのようなところも加えて、民間事業者に対してPRしてまいりたい。

問 確かに市長言うように、谷好・富川地区には空き地が6箇所あるのですけれども、中に入っているから、家を建てる人に見ればきつと不便なのですね。

この谷好2丁目の工業地域は、現状のままでも住宅は建築できるのでしようが、ここは谷好の入口で非常に便利なところであり、企業で買ってしまつたら、宅地開発しないと思うのです。

企業に買われる前に、住宅専用地域に用途変更して、住宅だけ建てられるようにしてはどうかと思います。

谷川小学校の児童の減少を一人でも食い止めたい、谷好地区の発展はどうしたらよいかとの思いから、言っているのですけれども、考えを変えていただけませんか。

答(都市住宅課長) 用途変更するには、住民や土地所有者を対象に説明会が必要となり、その後、市の都市計画審議会の審議を経て、北海道と協議をして、都市計画決定という流れになります。

また、手続きの中で、用途変更は土地所有者の意見を踏まえたものでなければならず、市の考えだけで用途を変更することはできないものとなっています。

答(市長) 地域に対する気持ち、実情はよく分かります。

児童の減少問題については、谷川小学校だけでなく、他の学校でもそのような状況になっていますので、今後も市としても、地域発展のために努力してまいりたい。



児童が減少傾向にある谷川小学校

一般質問



渡野辺秀雄 議員

質問1 自治会・町内会の現状と今後についての考えは

市長 加入率向上等に取り組み町内会への活性化交付金を増額

問 少子高齢化の今、自治会・町内会においても様々その影響が出て来ています。北斗市の86ある自治会・町内会においても、町会運営に支障を来しているところもあるものと考えます。

私の加入している町内会でも、今後5年先の町会運営に黄色信号がともつていきます。

町内会の活動は多岐にわたります。中でも、災害時の共助は町内会の大切な役割です。

しかし、都会では、解散する町内会があると聞きます。

北斗市でそのようなことはないと思いたいのですが、毎年入会者が減り、役員の成り手不足など、5年先、10年先は、どうなるのだろうかと危惧をしています。

市長は、自治会・町内会の現状と今後について、どのように考えているのかお聞かせください。

答(市長) 自治会・町内会は、地域コミュニティとして、一定の地域で、そこに住む方々が暮らしやすい地域となるよう地域課題の解決をはじめ、様々な活動を自主的・主体的に行うなど重要な役割を果たされています。

その活動内容は、地域のお祭りやレクリエーションなどを通じた親睦活動、安全・安心な社会をつくるための防災・防犯活動、清掃や環境美化活動、子どもや高齢者への見守りといった地域福祉を支える活動など多岐にわたっており、住みよいまちづくりになくってはならない存在です。

近年、核家族化や個人の価値観の多様化、少子高齢化などにより、町内会役員の高齢化・担い手不足、町内会加入率の低下が課題となっており、本市のみならず全国的にも、地域における自治活動や互助活動の機能低下が危惧されています。

このことから、市では、町内会に関心を持ってもらうことが大変重要であると考え、今年度からは、「加入率向上」や「担い手確保」に取り組み町内会への活性化交付金を増額しており、財政支援にも力を入れています。

市が企画した萩野小学校6年生の皆さんと考える「北斗市のまちづくり」では、町内会活動に興味を持って、実際に活動に参加し、その大切さに気付いた子ども

たちから、町内会を盛り上げるための解決策について、子どもたちの視点で様々なアイデアを提案していただきました。

市としては、提案内容を参考にしたいと思えますし、子どもたちが町内会活動に高い関心を持つことが、将来の参加につながることも、親御さんなどに町内会の重要性を改めて認識してもらおうきっかけになると感じていますので、今後も出前授業などを通じて、このような学習や取り組みを継続してまいります。

また、引き続き、町内会を取り巻く環境の変化に対応しながら加入者を増やす工夫と世代交代がスムーズに行っていくよう、担い手育成の取り組みを単位町内会や町会連合会、さらには、多様な地域コミュニティ組織と連携しながら協議を重ね、活性化に努めてまいります。



町内会活動による地域の安全を見守る交通指導

質問2 福祉灯油の助成対象世帯の枠を広げる考えは

市長 支援制度等の対象1千177件に対し、新たに1万5千円支給

問 社会福祉協議会で毎年行っている、「福祉灯油」の助成対象世帯の枠を広げるために、市としても手だてを講じる考えはないかお伺いします。

答(市長) 社会福祉協議会が歳末福祉見舞金として実施している「福祉灯油」は、市民からの募金と、この活動に賛同する企業などからの寄付金を原資としており、70歳以上の単身世帯で一定の収入要件を満たす方などに支給されます。

新型コロナウイルス感染症の影響により、いまだ家計が不安定な中、昨今の灯油価格高騰が追い打ちをかけていることから、市は、冬季生活費増高への緊急支援策が必要と判断し、本定例会の補正予算で「冬季生活臨時支援金」を提案し、議決いただきました。

支援金の対象は、社会福祉協議会が歳末福祉見舞金として1万2千円を支給する約320件に対しては、3千円を上乗せして1万5千円を支給し、また、今年度、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う支援制度等の対象となった1千177件に対しては、新たに1万5千円を支給することとしており、対象者には、速やかに案内し、年内に支給したいと考えています。

一般質問



白石 勝士 議員

質問1 市営住宅の除排雪について行政の積極的な関与が必要では
各団地の入居者の状況を踏まえ
各団地自治会と解決策を検討

市長 毎年、冬の除排雪は切実な問題です。

問 個人の敷地の除排雪は、それぞれの住人の自助努力によって除排雪を行い、市営住宅についても同様の考え方で問題の解決が図られてきました。

しかし、今日のような人口減少社会において、住人同士の協力を前提とした方法はいずれ限界が来るものと思われまます。そこで市営住宅の除排雪について、それぞれの自治会等に任せるだけでなく、行政の積極的な関与が必要になると考えますが市長の考えを伺います。

答(市長) 市営住宅における冬期間の除排雪の考え方は、個人住宅と同様であり、そこに暮らしている皆さんに対応していただくこととなっています。

そのことは、入居説明の中でも共同で行うよう説明しており、入居者の皆様のご理解とご協力により成り立っているものと認識しています。

なお、除排雪の方法は、団地自治会の

ある団地は、その団地自治会が、ない場合は管理人が中心となり決定しており、住戸前を各自でかいている団地や当番制でかいている団地、また、共益費により業者に依頼している団地など様々です。今後、人口減少がより一層進み、現在の除排雪方法が維持できなくなるようであれば、各団地の入居者の状況を踏まえ、団地自治会などとともに解決方法を探ってまいりたい。

問 除雪を住民が輪番で行っている団地自治会は、敷地内、通路や出入口部分等について、その住宅の棟ごとで取り組みや考え方に温度差が見受けられます。

そのような中、いずれは外注せざるを得ないと思いますが、その際、自治会ごと受益者負担で料金を徴収した場合、負担することに対する意識の差が出ます。それを自治会や住人に任せておくと、住人同士の対立に発展するのではと私は危惧しており、行政の関与がやはり必要ではないか、今から計画をしていく姿勢が大事ではないかと思えますが、この件について、考え方を伺います。

答(都市住宅課長) 市営住宅の入居時には、団地内の除排雪や清掃などは入居者の皆さんで話し合い、協力して行うことと、入居者が負担する費用として、共同部の電気料、清掃、除雪等に関わる費用は、共益費となることを説明しています。

もしも、払いたくない、出来ないなどの場合があれば、市で入居者に対し遵守するよう指導するべきだと考えています。ことなどの解決策に地域ポインタ制度のようなことを活用する取り組みなど、様々なことを検討しながら、新たなまちづくり、新たな手法を考えていかなければならないと思っています。

市長 久根別駐車場の狭幅箇所について、今後の取り組みは整備に向けて関係する方々と協議を行ってまいりたい

問 道路は市民生活や地域経済にとって極めて重要なインフラであり、その整備や維持には不断の努力が必要であると考えます。

我が北斗市内にも改良や整備が必要な道路がいくつもあります。以下の2カ所について現状の認識と今後の取り組みを伺います。

- (1) 国道227号と道道1164号北斗追分インター線及び追分線の交差点のずれについて。
- (2) 久根別停車場線のうち、久根別2丁目10番から21番62号付近の狭い箇所について。

答(市長) (1) 道道1164号北斗追分インター線を走行して国道227号と交差すると、信号奥の市道追分線は10m程左に位置しており、一直線ではない道路構造となつています。道路管理者である北海道へ確認したところ、今後、道道1164号北斗追分インター線の改良が行われる予定となっていることから、現段階での交差点改良は考えていないとの回答を得ています。(2) 当該箇所は、歩道が整備されていない区間となっており、令和4年度予算編成に対する町内会要望事項の中にも、小中学生の通学路であり、また住民の生活道路としても広く利用されていることから、早期に歩道を新設するよう要望があつています。



歩道が整備されていない久根別停車場線

このように地域の強い思いがあることから、今後の取り組みに関しては、まずは整備に向けて関係する方々との協議を行ってまいりたい。

一般質問



前田 治 議員

質問1 豪雨災害の教訓をどのように生かすのか

市長 課題が浮き彫りになった事象を検証し、対応を検討する

問 11月2日、道南を襲った豪雨は、北斗市においても100mmを超え、幸い人的被害はありませんでしたが、家屋への浸水や農作物冠水、流木等による漁業被害、土砂崩れなどの被害をもたらしました。以下の点についてお伺いします。

(1)市の報告では床上浸水2件、床下浸水18件、農作物冠水5件となっていますが、被害のあった地域ごとの主な原因について。

(2)今回の災害の教訓及び今後どのように生かすべきかについて。

答(市長) (1)床上・床下浸水については、当別地区が河川の越水による浸水、中野通地区は、降雨期常設ポンプ施設の能力を上回った降雨による浸水、その他の地区に関しては、降雨による低地部などの浸水が原因と思われます。

また、農作物の冠水5件については、東前、清川、中野地区で確認されており、いずれも集中豪雨により地下浸透など、排水が追いつかなかったことが原因と思

われます。

(2)今回の災害は短時間に豪雨が集中したことにより、浸水被害が発生したものと推測されることから、今後に向けては、課題が浮き彫りになった今回の事象を検証し、対応を検討するとともに、地域への周知や職員研修でも取り上げていくことを関係部署に指示したところです。

問 当別1丁目の水害、中野通3丁目の浸水、茂辺地小中学校前通学路の冠水について、どのような改善を行うのか。

答(土木課長) 当別1丁目は、付近の当別川が、人道橋に流木などが引っ掛かったことで流れが阻害され、それに伴い越水した可能性が高いと考えます。今後は、被災した護岸の補修を検討するとともに、堆積土砂の状況などを確認してまいります。

中野通3丁目は、2台の排水ポンプを設置していますが、今後は、3台目を入れられるよう増設スペースを検討してまいります。

茂辺地小中学校前通学路は、旧道側から橋を渡って水が流れてきたのを職員が確認しており、今後、降雨時などは、旧道や橋の部分の水の流れを確認し、降雨によって汚れた道路の清掃に関してもなるべく早く対応できるように検討してまいります。

質問2 令和3年度からの介護保険料を引き上げなかった要因は

市長 施設整備を行う見込みがなかったため

問 介護保険は、平成12年にスタートし、21年目を迎えています。

しかし、連続する介護保険料の引き上げや介護サービス内容の後退など、制度をめぐる環境は厳しさを増す一方です。

以下の点についてお伺いします。
(1)第7期保険料(平成30年度〜)が大きく上昇した要因について。
(2)第8期保険料(令和3年度〜)の引き上げを行わなかった要因について。
(3)今年8月から実施された補足給付の見直し内容と入居者負担の影響額について。

答(市長) (1)第6期中に地域密着型特別養護老人ホームを整備したこと、有料老人ホーム等の一部が特定施設入居者生活介護の指定を受けたこと、また、平成29年度に北海道から借り入れた財政安定化基金貸付金の返還をしたことが影響しています。

(2)第6期中に施設整備を行ったことで、サービスの向上が図られたことにより、第7期以降に施設整備を行う見込みがなかったためです。

(3)施設サービスを利用した場合の食費負担が、本人及び世帯全員が住民税非課税で、年間の収入額が120万円を超える方は、

1日の食費負担額が650円から1千360円となりました。

これにより、この類に該当する施設利用者、1カ月約2万1千300円の負担が増えることとなります。

問 介護保険は、負担が増えてくると、じかに被保険者に重くのしかかってくるという仕組みが、発足当時から変わっていません。

この制度は国の制度ですから、国がしっかり責任を持つよう様々な機会に訴えていただきたい。

答(市長) 今年8月から入居者の食費が結構上がりました。このような状況は、市長会の中でも、大変だとの思いがありますので、私もきちんと市長会場で主張してまいります。

食費の負担限度額の見直し	施設入所者		ショートステイ利用者	
	R3.7月まで→見直し後(R3.8月〜)	R3.7月まで→見直し後(R3.8月〜)	R3.7月まで→見直し後(R3.8月〜)	R3.7月まで→見直し後(R3.8月〜)
年金収入等≦80万円以下(第2段階)	390円	390円	390円	600円
年金収入等80万円超120万円以下(第3段階)	650円	650円	650円	1,000円
年金収入等120万円超(第3段階)	650円	1,360円	650円	1,300円

補足給付の対象ではない方*

ご負担いただく額は、施設と利用者の契約により決められています。

ご負担いただく額は、施設と利用者の契約により決められています。

【補足給付】食費の負担限度額の見直し 出典：厚生労働省資料

一 般 質 問



新関 一夫 議員

質問1 防災ラジオ等で多重に周知を図るべきでは
総務課長 防災ラジオの受信環境調査を実施し、導入を検討している

問 当市の防災体制に関する件に関し、以下の点についてお聞きします。

(1)大規模災害に備えることは重要ですが、当市の災害は、そのほとんどが内水面の水位上昇による災害だと考えます。

内水氾濫に対応するように排水ポンプや非常用電源などを整備してきましたが、改めてその経過をお知らせください。

(2)災害避難用物資の保管場所について、当市は拠点施設を設定して対応することにしてはいますが、具体的な搬送の方法についてお知らせください。

また、拠点施設を設定して対応すること、避難所ごとに物資を保管しておくこととの考え方についてお知らせください。

(3)11月2日に出された避難指示対象者は、1千204世帯・1千754名でしたが、実際に避難された方は76名にすぎませんでした。対象者に対する周知方法を含め、どのように考えているのかお知らせください。

答(市長) (1)整備状況については、市内の河川に常設ポンプ4カ所、降雨期常設

ポンプ5カ所、ポンプ稼働用の電源設備2カ所で、設置の経過は、降雨時の内水対策箇所の状況等を鑑みての設置や開発行為時の設置となっており、設置年は平成7年度から令和元年度となっています。

(2)災害避難用物資の備蓄状況については、地域の拠点施設として「追分地区」と「総合分庁舎内」で、また、地理的な要因を考慮し、「茂辺地・石別地区」で備蓄しており、拠点施設からの搬送方法は、避難情報の発令の都度、物資輸送を担当する市の職員が、開設避難所数や避難者数を想定した上で輸送しています。

ただし、台風など事前に避難所開設が想定される場合は、前もって避難所に配送を行ったり、トラックへの積み込みまでを終えておくなど、最善策が講じられるよう常に対策を検討しています。

また、避難所ごとに物資を保管しておくこととの比較は、当然、効率性を考えると各避難所に配置するのがベストですが、災害の種類によっては開設しない避難所があることや管理上の問題から拠点施設での保管がベストだと考えています。

なお、拠点施設が被災する可能性や道路被害により配送が困難になるケースも想定し、代替施設や分散保管についても検討を進めています。

(3)今回の避難情報の周知は、防災無線、テレビ・ラジオ、緊急速報メールなどに

より行い、多くの方に情報は届いていたものと思われませんが、避難対象者数に対する避難者数の割合は4.3%であり、数値的には決して高いとは言えないものです。ただし、当別地区の浸水被害が発生した地域では、多くの方が避難したという実態もありますので引き続き適切な避難行動について、周知に努めてまいりたい。

問 内水氾濫について、ハザードマップを作成し、対応する考えはないか。

答(総務課長) データ的にも市内で内水氾濫が起きている地域は特定箇所であり、今後十分に検討してまいりたい。

問 住民への周知の手段として、防災無線だけではなく、防災ラジオ等で多重に備え周知を図るべきではないか。

答(総務課長) 防災ラジオは、すぐに導入とはなりません。受信環境調査を実施しており、そのような手段も検討しています。



追分にある災害避難用物資備蓄倉庫

質問2 PCR検査の実施状況は
市長 高齢者施設、障害者施設、小・中学校で合計1千989人

問 新型コロナウイルス接種の3回目の動向に関し、11月24日の市長会見に基づき、以下の点についてお聞きします。

(1)12月からの65歳以上の高齢者の方への対応と64歳以下の方への接種案内の方法及び混乱回避の方策について伺います。

(2)PCR検査費用の助成を来年3月まで延長することですが、検査の実施状況はどのようになっていくのか伺います。

答(市長) (1)65歳以上の高齢者の方へは、接種日と医療機関を指定した接種券を送付し、都合が悪ければコールセンターへ連絡していただくこととし、64歳以下の方は、これまでと同様、インターネットまたはコールセンターで予約をしていただきます。混乱回避の方策として、電話回線の増減や64歳以下の方への接種券送付をコールセンターが対応できる予約枠を勘案して調整します。

(2)ブレイクスルー感染等でのクラスター発生のリスクを考慮し、助成期間を今年度末まで延長しており、検査の実績は、高齢者施設は11施設延べ773人、障害者施設は3施設延べ191人、小・中学校の修学旅行等は12校634人、小・中学校等の対外競技は19団体391人で、合計1千989人です。

より行い、多くの方に情報は届いていたものと思われませんが、避難対象者数に対する避難者数の割合は4.3%であり、数値的には決して高いとは言えないものです。ただし、当別地区の浸水被害が発生した地域では、多くの方が避難したという実態もありますので引き続き適切な避難行動について、周知に努めてまいりたい。

委員会活動をお知らせします

《総務常任委員会》

- ・10月29日に委員会を開催し、『市のごみ処理に関する調査』及び北斗市ごみ破碎処理施設リサイクルンほくとでの現地調査を行い、ごみ減量化の推進を図るとは具体的にどんなことを現段階で意識しているのかなどの質疑応答を行いました。
- ・12月9日に第4回定例会で付託された、指定管理者の指定（1件）の審査を行い、『北斗市健康センター及び北斗市せせらぎ保健センターにおける指定管理者の指定』について、指定期間を3年間とする理由、現在勤務している会計年度任用職員に対する雇用の確保についての質疑応答ののち、採決の結果、原案のとおり可決すべきものと決定し、本会議で報告を行いました。



リサイクルンほくとでの現地調査のようす

《文教厚生常任委員会》

- ・10月26日に委員会を開催し、『保育所に関する調査』、『放課後児童クラブに関する調査』を行い、『保育所に関する調査』については、市外から北斗市内の保育園に通っている人数、潜在的待機児童の市としての今後の対応、一時預かり保育についてなど、『放課後児童クラブに関する調査』については、開設時間の延長はできないか、利用料について、コロナ禍が回復してきている中での活動基準などを設けたりしているのかなどの質疑応答を行いました。
- ・12月10日に第4回定例会で付託された、条例の一部改正（2件）の審査を行い、『北斗市国民健康保険条例の一部改正』、『北斗市国民健康保険税条例の一部改正』については、質疑討論はなく、採決の結果、原案のとおり可決すべきものと決定し、本会議で報告を行いました。



文教厚生常任委員会のようす

《産業建設常任委員会》

- ・10月12日に委員会を開催し、『農産物に関する調査』及び新函館農業協同組合きゅうり共同選別施設、函館育ちライスターミナルでの現地調査を行いました。
- ・12月13日に第4回定例会で付託された、財産の取得（1件）の審査を行い、土地を取得する目的、遊具の整備、追分97号線からの出入りは可能なのか、取得金額に係る単価の設定内容についての質疑応答ののち、採決の結果、原案のとおり可決すべきものと決定し、本会議で報告を行いました。



新函館農業協同組合きゅうり共同選別施設での現地調査のようす

《議会運営委員会》

- ・10月14日に委員会を開催し、議会だより（No.68）の監修、「議会だよりの見直し」について協議を行いました。
- ・11月1日に委員会を開催し、第5回臨時会の議会運営（会期日程等）に関する協議を行い、会期を11月9日の1日としました。
- ・11月29日に委員会を開催し、第4回定例会の議会運営（会期日程等）に関する協議を行い、会期を12月7日から12月14日までの8日間としました。
その後、「議会だよりの見直し」について協議をしました。
- ・12月7日に委員会を開催し、第4回定例会の議会運営（追加議件）に関する協議を行いました。
- ・12月16日に委員会を開催し、第6回臨時会の議会運営（会期日程等）に関する協議を行い、会期を12月22日の1日としました。
- ・12月28日に委員会を開催し、第1回臨時会の議会運営（会期日程等）に関する協議を行い、会期を1月12日の1日としました。



《北海道新幹線トンネル工事に伴う掘削発生土に関する調査特別委員会》

- ・12月14日に委員会を開催し、副市長、担当部課長の出席、鉄道・運輸機構の工事次長、課長及び所長を参考人として招致し、9月にセレン濃度の基準値が超過したことの原因と、対策として滞水の除去や堆積物の除去、滞水箇所の埋め戻し等を行ったことの説明を受けました。

地下水脈への影響を考えると堆積物の表面だけを取り除くのではなく全部取り除かなければならないのではないか、大雨のときなど現在の対策で心配はないのか、沈砂池のようなもので管理していくという方法は考えなかったのかなどの質疑応答を行いました。

その他の会議など（市議会）

■全員協議会

- ・12月8日、北斗市役所で開かれ、閉会中における正副議長の公務活動、一部事務組合議会・広域連合議会の概要、常任委員会の所管事務調査・特別委員会調査の概要について報告されました。

一部事務組合・広域連合議会の動き

■南渡島消防事務組合議会

- ・12月6日、令和3年第3回定例会が南渡島消防事務組合消防本部で開かれ、令和3年度一般会計補正予算が審議され、可決されました。

■南渡島衛生施設組合議会

- ・10月13日、令和3年第2回定例会が南渡島衛生施設組合で開かれ、令和2年度会計歳入歳出決算認定が審議され、認定されました。

■函館湾流域下水道事務組合議会

- ・11月26日、令和3年第2回定例会が函館市役所で開かれ、令和3年度一般会計補正予算、公平委員会委員の選任同意（1件）、令和2年度一般会計決算認定、報告（2件）が審議され、可決・認定等されました。

■函館圏公立大学広域連合議会

- ・11月26日、令和3年第2回定例会が函館市役所で開かれ、令和3年度一般会計補正予算、公平委員会委員の選任同意（1件）、令和2年度一般会計決算認定、選挙管理委員及び同補充員の選挙、報告（3件）が審議され、可決・認定等されました。この他、一般質問（1件）が行われました。

■渡島廃棄物処理広域連合議会

- ・10月27日、令和3年第2回定例会が渡島廃棄物処理広域連合で開かれ、議席の指定、令和2年度一般会計継続費清算報告、令和2年度一般会計決算認定、監査委員の選任同意（1件）が審議され、可決・認定等されました。

令和3年10月24日、北斗市森林・林業・林産業活性化議員連盟が、きじひき高原にエゾヤマザクラを植樹しました。



～将来を担う子どもたちからの問いかけ～

第4回北斗市子ども議会



令和3年11月15日、新型コロナウイルス感染防止対策を講じた中、第4回北斗市子ども議会が市議会議場において、小学5年生から高校3年生までの子ども議員と市長をはじめとする説明員の出席のもと開催されました。

函館水産高等学校の岩崎壮汰議長の開会宣告のあと、北斗市の将来に関する提案や市政運営について、10人が一般質問を行いました。

また、本会議に先立ち、北斗市議会中井議長から「本日の子ども議会が、皆さんにとりまして実り多き体験となり、ここから大きく羽ばたいて活躍されますことをご祈念いたします。」とあいさつがありました。



【子ども議員からの質問事項】

- ・野村 萌々花 議員（石別小学校）
「差別のない、みんなで支え合うまちづくりについて」
- ・佐藤 煌大 議員（谷川小学校）
「北斗市の防災について」
- ・品川 浩夢 議員（北斗高等支援学校）
「安全なまちづくりについて」
- ・佐藤 遥希 議員（大野中学校）
「北斗市の今後の発展に向けた方策について」
- ・藤谷 衛 議員（市渡小学校）
「北斗市笑顔プロジェクトについて」
- ・三浦 悠翔 議員（久根別小学校）
「北斗市に総合病院をつくる」
- ・紺野 竣太郎 議員（上磯中学校）
「新函館北斗駅周辺の活性化について」
- ・橋場 唯斗 議員（茂辺地中学校）
「北斗市をもっと知ってもらうために」
- ・金札 涼汰 議員（上磯高等学校）
「北斗市夏まつりについて」
- ・波 千風音 議員（萩野小学校）
「町内会を通じて、つながり合う町づくり」

最後に、池田市長から「北斗市児童生徒のすばらしい発想を、将来のまちづくりに生かしたいとの思いで、子ども議会を開催させていただいております。議員の皆さんから頂いた貴重な意見を北斗市発展のために役立たせていただきます。」とあいさつがありました。



令和3年1月～令和3年12月 定例会・臨時会出席状況一覧表

○は出席 ×は欠席 △は遅刻、早退 \は出席不要 公は議会として欠席することが妥当と認めた欠席

区分 氏名	第1回定例会				第2回定例会			第3回定例会					第4回定例会			臨時会								
	本会議			予算審査 特別委員会	本会議			本会議			決算審査 特別委員会					本会議			第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
	1	2	3		1	2	3	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3						
中井光幸	○	○	○	\	○	○	○	○	○	○	\	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
白戸昭司	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
仲村千鶴子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
渡野辺秀雄	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
前田治	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
伊藤洋平	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
佐々木亮	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
高村智	○	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
新関一夫	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
花巻徹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
寺澤十郎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
吉田直樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
玉森大樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
栃木正則	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
工藤秀子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	
高田茂	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
小泉征男	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
白石勝士	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	\	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
山本正宏	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
水上務	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	△	○	○	△	○	○	×	○	○	○	○	
秋田厚也	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
坂見英幸	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

令和3年1月～令和3年12月 各委員会出席状況一覧表

○は出席 ×は欠席 △は遅刻、早退

◎議会運営委員会

氏名	回	1	2	3	4	5	6	7	氏名	回	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	秋田厚也	○	○	○	○	○	○	○		○	秋田厚也	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
渡野辺秀雄	○	×	○	○	○	○	○	○	寺澤十郎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高村智	○	○	○	○	○	○	○	○	渡野辺秀雄	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
寺澤十郎	○	○	○	○	○	○	○	○	高村智	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
玉森大樹	○	○	○	○	○	○	○	○	新関一夫	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	
工藤秀子	○	○	○	○	○	○	○	○	玉森大樹	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	
小泉征男	○	○	○	○	○	○	○	○	工藤秀子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
山本正宏	○	○	○	○	○	○	○	○	山本正宏	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○
白戸昭司	○	○	○	○	○	○	○	○	白戸昭司	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※委員のほか、議長が出席しています。



◎総務常任委員会

氏名	回	1	2	氏名	回	3	4	5	6	7	8
山本正宏		○	○	山本正宏		○	○	○	○	○	○
前田治		○	○	高田茂		○	○	○	○	○	○
伊藤洋平		○	○	前田治		○	○	○	○	○	○
寺澤十郎		○	○	吉田直樹		○	○	○	○	○	○
栃木正則		○	○	栃木正則		○	○	○	○	○	○
高田茂		○	○	白石勝士		○	○	○	○	○	○
白戸昭司		○	○	白戸昭司		○	○	○	○	○	○



◎文教厚生常任委員会

氏名	回	1	2	氏名	回	3	4	5	6
仲村千鶴子		○	○	新関一夫		○	○	○	○
工藤秀子		○	○	工藤秀子		○	○	○	○
佐々木亮		○	○	仲村千鶴子		○	○	○	○
高村智		○	○	伊藤洋平		○	○	○	○
花巻徹		○	○	佐々木亮		○	○	○	○
吉田直樹		○	○	高村智		○	○	○	○
小泉征男		○	○	花巻徹		○	○	○	○

◎産業建設常任委員会

氏名	回	1	2	氏名	回	3	4	5	6	7
新関一夫		○	○	玉森大樹		○	○	○	○	○
玉森大樹		○	○	渡野辺秀雄		○	○	○	○	○
渡野辺秀雄		○	○	寺澤十郎		○	○	○	○	○
白石勝士		○	○	小泉征男		○	○	○	○	○
水上務		○	○	水上務		○	○	○	○	○
秋田厚也		○	○	秋田厚也		○	○	○	○	○
坂見英幸		○	○	坂見英幸		○	○	○	○	○

◎議会改革の推進に関する調査特別委員会

※所期の目的が達成されたことから、令和3年3月12日をもって委員会を解散しています。

氏名	回	7	8
白戸昭司		○	○
仲村千鶴子		○	○
高村智		○	○
新関一夫		○	○
花巻徹		○	○
玉森大樹		○	○
栃木正則		○	○
工藤秀子		○	○
白石勝士		○	○
山本正宏		○	○
秋田厚也		○	○

※委員のほか、議長が出席しています。

◎北海道新幹線トンネル工事に伴う掘削発生土に関する調査特別委員会

氏名	回	12	13	14
白戸昭司		○	○	○
山本正宏		○	○	○
渡野辺秀雄		○	○	○
前田治		○	○	○
新関一夫		○	○	○
玉森大樹		○	○	○
工藤秀子		○	○	○
小泉征男		×	○	○
白石勝士		○	○	○
秋田厚也		○	×	○

※委員のほか、議長が出席しています。

◎議会ICT化に関する調査特別委員会

氏名	回	1
高村智		○
栃木正則		○
伊藤洋平		○
佐々木亮		○
吉田直樹		○
玉森大樹		○
白石勝士		○

※委員のほか、議長が出席しています。

議会の模様がインターネットでご覧いただけます。

- 北斗市議会ホームページの「議会映像」→「市議会インターネット中継」をクリックすると、視聴方法の選択画面（「ライブ中継を見る」・「録画映像を見る」）に進みます。

<https://www.city.hokuto.hokkaido.jp/docs/1987.html>

北斗市議会

検索

- 市役所や総合分庁舎などでも、議会中継の模様が設置モニターでご覧になれます。

【ご覧いただける場所】・市役所本庁舎・総合分庁舎・市役所七重浜支所、茂辺地支所



議会日誌（令和3年10月1日～令和3年12月31日）

10月 5日	定期監査（監査委員議員）	24日	例月出納検査（監査委員議員）
6日	定期監査（監査委員議員）	25日	例月出納検査（監査委員議員）
9日	北斗市青少年育成大会（議長）	26日	函館湾流域下水道事務組合議会定例会（組合議員）
12日	「産業建設常任委員会」		函館圏公立大学広域連合議会定例会（連合議員）
13日	北斗市社会福祉大会（議長）	29日	「議会運営委員会」
	南渡島衛生施設組合議会定例会（組合議員）	12月 4日	北斗市PTA連合会研究大会（議長）
14日	「議会運営委員会」	6日	南渡島消防事務組合議会定例会（組合議員）
19日	渡島廃棄物処理広域連合議会「議会運営委員会」(議長、議会運営委員)	7日	北斗市議会第4回定例会本会議（第1日目）
21日	例月出納検査（監査委員議員）		「議会運営委員会」
22日	例月出納検査（監査委員議員）	8日	定例会本会議（第2日目）
	北海道高等学校駅伝競走大会開会式（議長）		「全員協議会」
23日	北海道高等学校駅伝競走大会（議長）	9日	「総務常任委員会」
24日	北斗市市民植樹祭（議長ほか議員）	10日	「文教厚生常任委員会」
	北斗市森林・林業・林産業活性化議員連盟植樹「きじひき高原」	13日	「産業建設常任委員会」
26日	「文教厚生常任委員会」	14日	定例会本会議（第3日目）
27日	渡島廃棄物処理広域連合議会定例会（連合議員）		「北海道新幹線トンネル工事に伴う掘削発生土に関する調査特別委員会」
29日	「総務常任委員会」	16日	「議会運営委員会」
11月 1日	「議会運営委員会」	22日	北斗市議会第6回臨時会本会議
9日	北斗市議会第5回臨時会本会議		例月出納検査（監査委員議員）
10日	定期監査（監査委員議員）	23日	例月出納検査（監査委員議員）
11日	全国市議会議長会建設運輸委員会『東京都』（議長）	24日	北斗市表彰審査委員会（正副議長）
	定期監査（監査委員議員）	25日	上磯吹奏楽団定期演奏会（議長）
15日	第4回北斗市子ども議会	28日	「議会運営委員会」

＝ 本会議を傍聴しませんか！ ＝

議会傍聴は、市民の代表である議員がどんな活動をしているか、市政がどのように運営されているのかなどを知る良い機会です。傍聴したい方は、市役所3階の本会議場傍聴席までお越しください。



議会開催予定

第1回北斗市議会定例会は、3月の開催を予定しています。

編集後記

▼新年あけましておめでとうございます。昨年（編集委員 高村 智）は、新型コロナウイルスワクチン接種が進み、新型コロナウイルスが終息に向かうかと思われましたが、11月に新たな変異株が国内に入ったことで、第6波への危機感を抱きながらの新年となりました。

▼令和3年第4回定例会は感染症対策を取った中、滞りなく終了しました。一般会計補正予算では新型コロナウイルス対策や昨年11月の集中豪雨への対応などについて議決され、災害への備えに関して改めて身の引き締まる思いです。

▼ICT教育が全国で進む中、北斗市内の小・中学校でも、教員の工夫により、分かりやすい授業が展開されています。教員の働き方改革と併せ、子どもたちの学力向上が期待されます。

当議会でも、タブレット端末導入によるペーパーレス化に向けて、議会ICT化に関する調査特別委員会が設置されました。今後、先進地の情報を参考に北斗市議会として最良な形になるように取り組んでまいります。

▼今期の議員任期も残り1年3カ月になりました。コロナ禍においても市民の皆様が安心して毎日を暮らすことができるよう日々研鑽を積んでまいりたいと思います。

▼北海道日本ハムファイターズの監督に新庄ビッグボスが就任しました。今後の盛り上がり北海道も北斗市も一緒に楽しみます。令和4年でもありますように祈念します。

☆市議会だよりをご覧いただきありがとうございます。皆様のご意見ご感想をお聞かせください。

『☎ 73-3111 F A X 73-6970』『メールアドレス gikai@city.hokuto.hokkaido.jp』

印刷／(有)上磯印刷所